

# I 調査の概要

## 1 調査の目的

この調査は、学校における幼児、児童及び生徒の発育及び健康の状態を明らかにすることを目的とする。

## 2 調査の周期・期日

周期 昭和23年度から毎年実施（昭和23年度から昭和34年度までは、統計の名称を「学校衛生統計」として実施）。

期日 令和3年4月1日から令和4年3月31日までの間に実施。

## 3 新型コロナウイルス感染症の影響に伴う対応

令和3年度については、令和2年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響により、例年4月1日から6月30日までの調査期日が、当該年度末まで延長となった。

**このため、本集計結果は、成長の著しい時期において測定時期を異にしたデータを集計したものであり、過去の数値と単純比較することはできない。**

## 4 調査の対象

満5歳から17歳までの幼児、児童及び生徒（以下「児童等」という。）の一部（抽出調査）。

なお、調査実施学校（園）数、調査対象者数及び抽出率は、次のとおりである。

区 分	学校（園）総数	児童等総数	調査実施学校（園）数	発育状態調査		健康状態調査	
				調査対象者（人）	抽出率（%）	調査対象者（人）	抽出率（%）
幼稚園	331	5,699	35	793	13.9%	803	14.1%
小学校	263	54,460	58	5,495	10.1%	19,812	36.4%
中学校	157	29,940	39	4,256	14.2%	12,182	40.7%
高等学校	77	30,543	27	2,422	7.9%	15,681	51.3%
計	828	120,642	159	12,966	10.7%	48,478	40.2%

注1:発育状態調査は、調査実施校に在籍する児童等のうちから年齢別男女別に抽出された者を対象とし、健康状態調査は、調査実施校の在学者全員を対象としている。

注2:学校（園）総数及び児童等総数は令和3年度学校基本調査（青森県分）による。

注3:幼稚園には幼保連携型認定こども園を含む。

注4:幼稚園の児童等総数は「5歳児」のみの人数である。

## 5 調査事項

(1) 児童等の発育状態（身長及び体重）

(2) 児童等の健康状態（栄養状態、脊柱・胸郭・四肢の状態、裸眼視力、眼の疾病・異常、難聴、耳鼻咽喉頭疾患、皮膚疾患、結核に関する検診、結核、心電図異常、心臓、蛋白検出、尿糖検出、その他の疾病・異常、歯・口腔、永久歯のう歯等数）

### 《利用上の注意》

(1) 年齢は、令和3年4月1日現在の満年齢である。

(2) 統計表の中の記号

「－」 計数がない場合

「…」 調査対象とならなかった場合

「0.00」 計数が単位未満の場合

「X」 標本サイズが小さい、又は標準誤差が大きいため統計数値を公表しない場合

(3) 合計の数値は、四捨五入を行っているため各項目の合計と一致しない場合がある。

## II 調査結果の概要

### 1 発育状態

#### (1) 身長

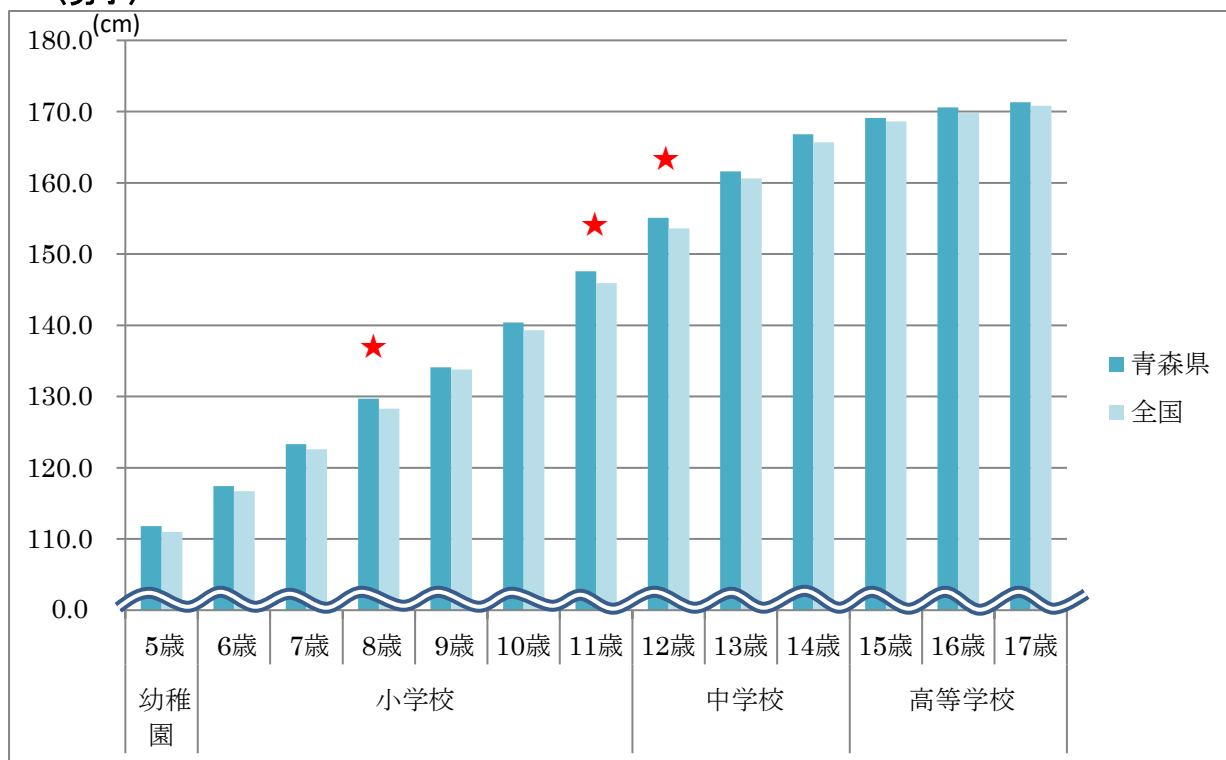
- ・男子、女子とも全年齢で全国平均を上回っており、その差が最も大きいのは、男子では11歳の1.7cm、女子では10歳の2.1cmとなっている。
- ・男子は8歳、11歳、12歳、女子は9歳、14歳で全国第1位となっている。

表1 身長の平均値

区分	年齢	身長 (cm)					
		青森県での調査人数	令和3年度 (青森県) A	令和3年度 (全国) B	全国との差 A-B	令和3年度 青森県 順位	
男	幼稚園	5歳	406	<b>111.8</b>	111.0	0.8	3
	小学校	6歳	455	<b>117.4</b>	116.7	0.7	5
		7歳	454	<b>123.3</b>	122.6	0.7	3
		8歳	462	<b>129.7</b>	128.3	1.4	1
		9歳	458	<b>134.1</b>	133.8	0.3	14
		10歳	461	<b>140.4</b>	139.3	1.1	2
		11歳	457	<b>147.6</b>	145.9	1.7	1
	中学校	12歳	720	<b>155.1</b>	153.6	1.5	1
		13歳	709	<b>161.6</b>	160.6	1.0	2
		14歳	720	<b>166.8</b>	165.7	1.1	2
	高等学校	15歳	405	<b>169.1</b>	168.6	0.5	7
		16歳	405	<b>170.6</b>	169.8	0.8	4
		17歳	405	<b>171.3</b>	170.8	0.5	6
女	幼稚園	5歳	387	<b>111.0</b>	110.1	0.9	4
	小学校	6歳	453	<b>116.7</b>	115.8	0.9	3
		7歳	455	<b>122.8</b>	121.8	1.0	2
		8歳	457	<b>128.5</b>	127.6	0.9	3
		9歳	458	<b>135.6</b>	134.1	1.5	1
		10歳	461	<b>143.0</b>	140.9	2.1	2
		11歳	464	<b>148.4</b>	147.3	1.1	2
	中学校	12歳	708	<b>152.8</b>	152.1	0.7	3
		13歳	699	<b>155.6</b>	155.0	0.6	4
		14歳	700	<b>157.3</b>	156.5	0.8	1
	高等学校	15歳	398	<b>157.5</b>	157.3	0.2	11
		16歳	404	<b>157.9</b>	157.7	0.2	15
		17歳	405	<b>158.2</b>	158.0	0.2	9

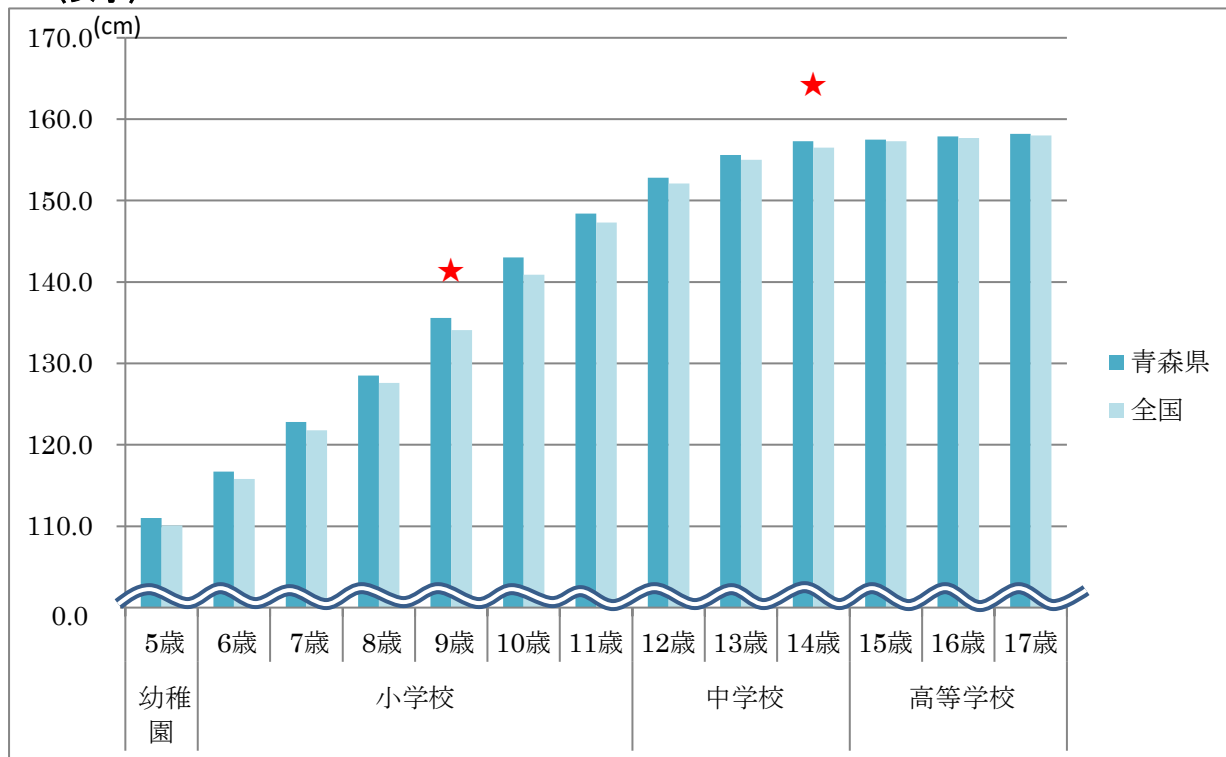
グラフ1 身長の平均値

〈男子〉



★ : 全国1位

〈女子〉



★ : 全国1位

## (2) 体 重

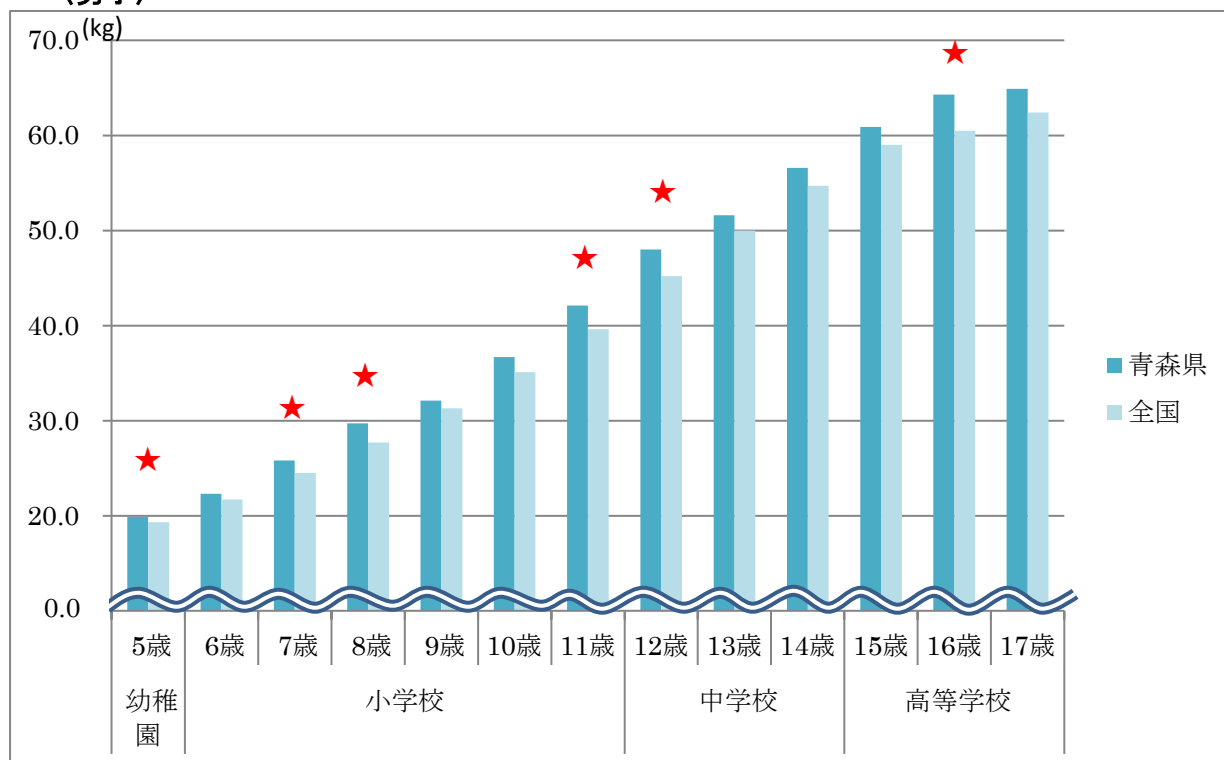
- ・男子、女子とも全年齢で全国平均を上回っており、その差が最も大きいのは、男子では16歳の3.8kg、女子では15歳の2.6kgとなっている。
- ・男子は5歳、7歳、8歳、11歳、12歳、16歳、女子は10歳、12歳、13歳、14歳、15歳で全国第1位となっている。

表2 体重の平均値

区 分		年 齢	体 重 (kg)				
			青森県 での調 査人数	令和3年度 (青森県) A	令和3年度 (全 国) B	全国との 差 A-B	令和3年度 青森県 順 位
男	幼稚園	5歳	406	19.9	19.3	0.6	1
		6歳	455	22.3	21.7	0.6	2
	小学校	7歳	454	25.8	24.5	1.3	1
		8歳	462	29.7	27.7	2.0	1
		9歳	458	32.1	31.3	0.8	8
		10歳	461	36.7	35.1	1.6	2
		11歳	457	42.1	39.6	2.5	1
	中学校	12歳	720	48.0	45.2	2.8	1
		13歳	709	51.6	50.0	1.6	2
		14歳	720	56.6	54.7	1.9	3
	高等学校	15歳	405	60.9	59.0	1.9	4
		16歳	405	64.3	60.5	3.8	1
		17歳	405	64.9	62.4	2.5	2
女	幼稚園	5歳	387	19.5	19.0	0.5	2
		6歳	453	21.9	21.2	0.7	2
	小学校	7歳	455	24.8	23.9	0.9	2
		8歳	457	27.9	27.0	0.9	2
		9歳	458	32.0	30.6	1.4	3
		10歳	461	37.3	35.0	2.3	1
		11歳	464	41.1	39.8	1.3	5
	中学校	12歳	708	46.3	44.4	1.9	1
		13歳	699	49.8	47.6	2.2	1
		14歳	700	52.1	50.0	2.1	1
	高等学校	15歳	398	53.9	51.3	2.6	1
		16歳	404	54.1	52.3	1.8	2
		17歳	405	54.5	52.5	2.0	2

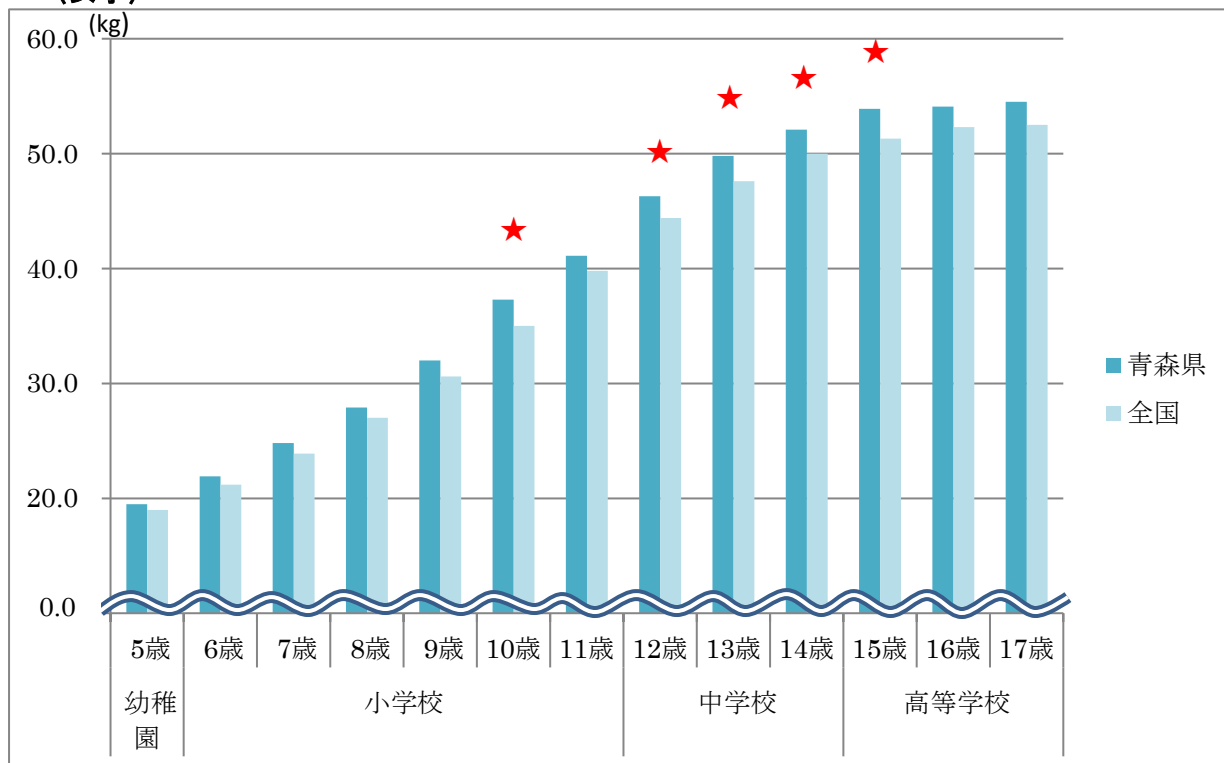
グラフ2 体重の平均値

〈男子〉



★ : 全国 1 位

〈女子〉



★ : 全国 1 位

### (3) 肥満傾向児・痩身傾向児の出現率

肥満傾向児及び痩身傾向児の本県と全国における出現率は次のとおりで、肥満傾向児の出現率は、男子、女子とも全年齢で全国平均を上回っている。

#### ① 肥満傾向児

- ・男子では、16歳の出現率が18.59%で最も高く、全国値との差は16歳が最も大きく、7.95ポイント上回っている。
- ・女子では、13歳の出現率が14.47%で最も高く、全国値との差では15歳が最も大きく、6.74ポイント上回っている。
- ・男子は6歳、7歳、女子は13歳、14歳、15歳、16歳、17歳で全国第1位となっている。

#### ② 痩身傾向児

- ・男子では、15歳の出現率が3.88%で最も高く、全国値との差では16歳が最も大きく、1.46ポイント下回っている。
- ・女子では、16歳の出現率が3.58%で最も高く、全国値との差では16歳が最も大きく、1.25ポイント上回っている。

表3 肥満傾向児・痩身傾向児の出現率

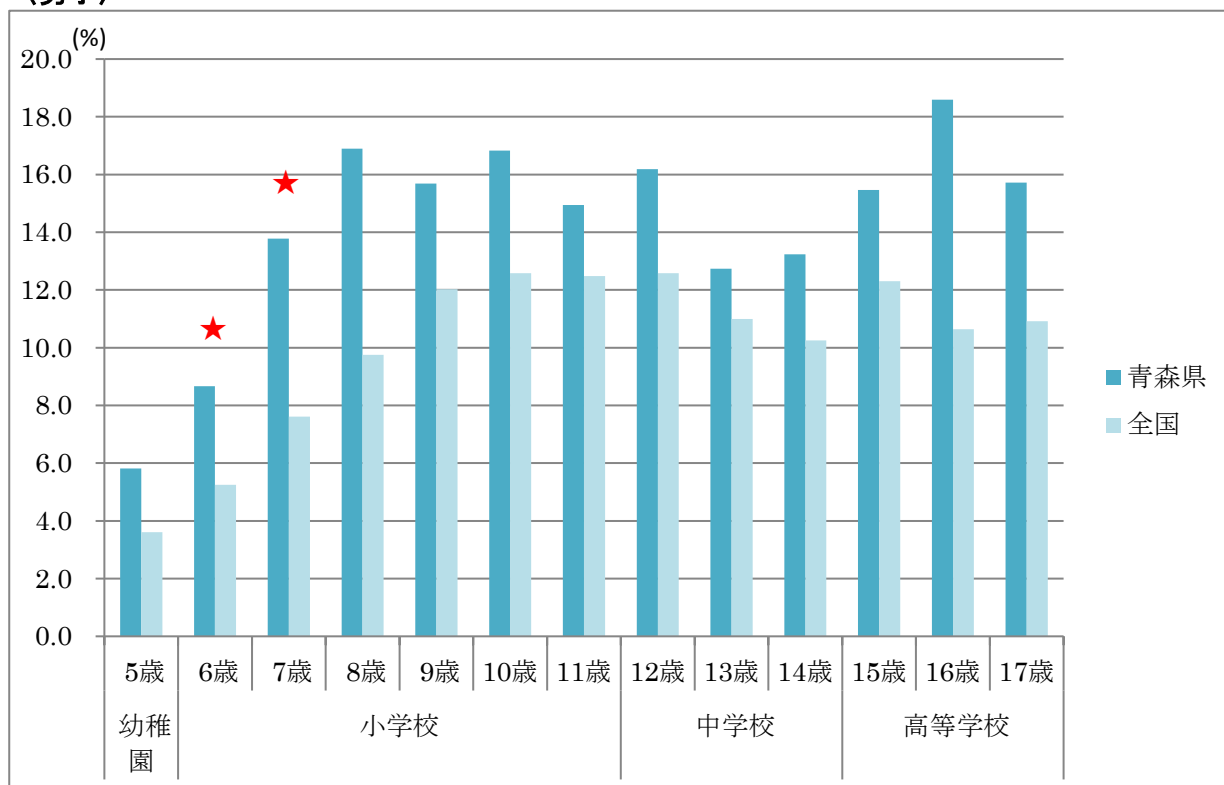
区分	年齢	肥満傾向児				痩身傾向児				
		令和3年度 (青森県) A	令和3年度 (全国) B	全国との 差 A-B	令和3年度 青森県 順位	令和3年度 (青森県) C	令和3年度 (全国) D	全国との 差 C-D	令和3年度 青森県 順位	
男	幼稚園	5歳	5.82	3.61	2.21	3	-	0.30	-	-
		小学校	6歳	8.67	5.25	3.42	1	0.63	0.28	0.35
	7歳		13.78	7.61	6.17	1	0.60	0.31	0.29	6
	8歳		16.89	9.75	7.14	2	0.22	0.84	-0.62	43
	9歳		15.69	12.03	3.66	8	2.20	1.42	0.78	6
	10歳		16.83	12.58	4.25	4	1.99	2.32	-0.33	29
	11歳		14.94	12.48	2.46	10	1.63	2.83	-1.20	42
	中学校	12歳	16.19	12.58	3.61	6	2.47	3.03	-0.56	32
		13歳	12.74	10.99	1.75	6	2.79	2.73	0.06	11
		14歳	13.24	10.25	2.99	4	2.20	2.64	-0.44	29
	高等学校	15歳	15.46	12.30	3.16	8	3.88	4.02	-0.14	15
		16歳	18.59	10.64	7.95	2	1.88	3.34	-1.46	39
		17歳	15.72	10.92	4.80	3	2.44	3.07	-0.63	27
女	幼稚園	5歳	5.80	3.73	2.07	4	0.27	0.36	-0.09	25
		小学校	6歳	5.74	5.15	0.59	18	0.17	0.49	-0.32
	7歳		10.25	6.87	3.38	4	0.60	0.56	0.04	14
	8歳		11.62	8.34	3.28	3	1.30	0.83	0.47	5
	9歳		11.59	8.24	3.35	8	2.50	1.66	0.84	3
	10歳		12.83	9.26	3.57	4	2.29	2.36	-0.07	20
	11歳		11.50	9.42	2.08	9	2.11	2.18	-0.07	20
	中学校	12歳	12.51	9.15	3.36	4	2.56	3.55	-0.99	38
		13歳	14.47	8.35	6.12	1	2.60	3.22	-0.62	31
		14歳	12.68	7.80	4.88	1	2.15	2.55	-0.40	26
	高等学校	15歳	14.31	7.57	6.74	1	2.46	3.10	-0.64	30
		16歳	13.32	7.20	6.12	1	3.58	2.33	1.25	4
		17歳	13.00	7.07	5.93	1	1.39	2.19	-0.80	37

注： 1. 肥満傾向児とは、性別・年齢別・身長別標準体重から肥満度を求め、肥満度が20%以上の者である。  
2. 痩身傾向児とは、性別・年齢別・身長別標準体重から肥満度を求め、肥満度が-20%以下の者である。

※ 肥満度 = (実測体重 - 身長別標準体重) / 身長別標準体重 × 100%

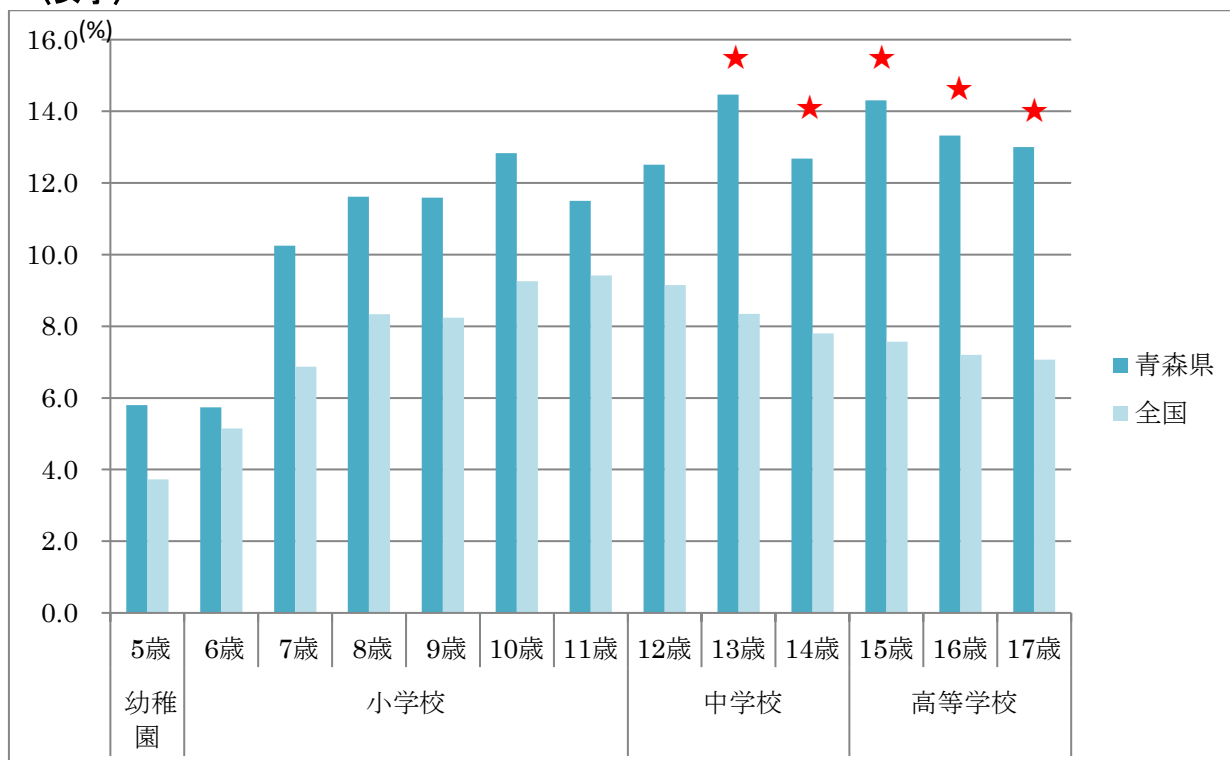
グラフ3 肥満傾向児の出現率

〈男子〉



★ : 全国1位

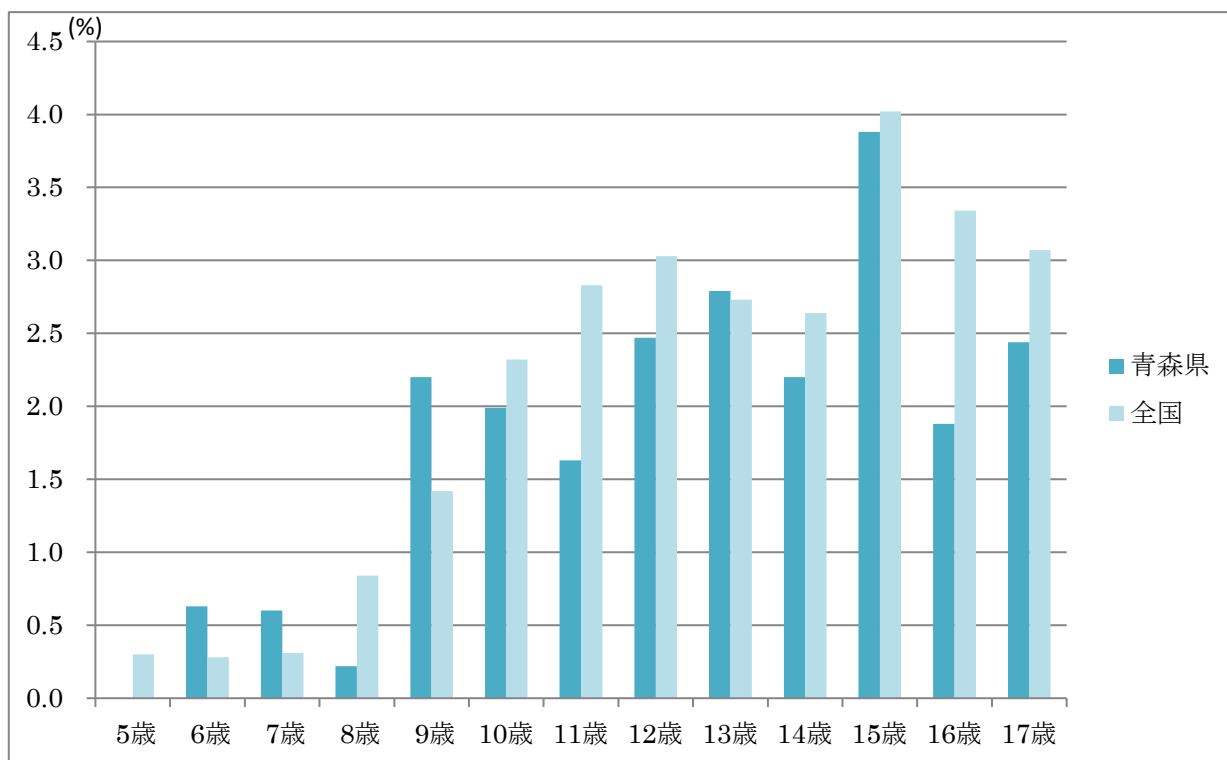
〈女子〉



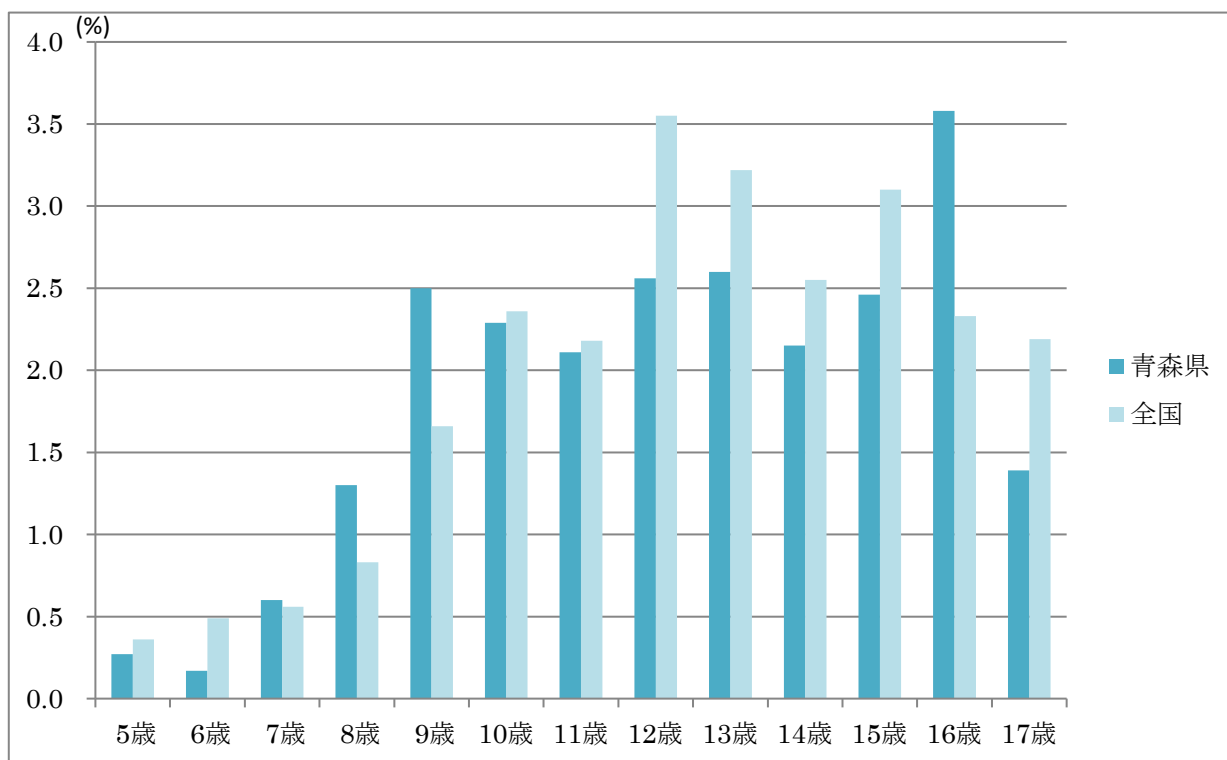
★ : 全国1位

グラフ4 痩身傾向児の出現率

〈男子〉



〈女子〉





## 2 健康状態

### (1) 疾病・異常の被患率等の状況

- ・ 幼稚園及び小学校においては「むし歯（う歯）」の者の割合が最も高く、小学校では次いで「裸眼視力1.0未満の者」の順になっている。
- ・ 中学校及び高等学校においては、「裸眼視力1.0未満の者」の割合が最も高く、次いで「むし歯（う歯）」の順になっている。

表4 疾病・異常の被患率等別状況

区分	幼稚園	小学校	中学校	高等学校	
70%以上～80%未満				裸眼視力1.0未満の者	
60～70			裸眼視力1.0未満の者		
50～60		むし歯（う歯）		むし歯（う歯）	
40～50		裸眼視力1.0未満の者	むし歯（う歯）		
30～40	むし歯（う歯）				
20～30			鼻・副鼻腔疾患		
10～20		鼻・副鼻腔疾患		鼻・副鼻腔疾患	
1～10	8～10		歯・口腔のその他の疾病・異常		
	6～8		歯・口腔のその他の疾病・異常		
	4～6	歯列・咬合	眼の疾病・異常 耳疾患 歯列・咬合	耳疾患 歯列・咬合	歯垢の状態 歯肉の状態 歯・口腔のその他の疾病・異常
	2～4	その他の皮膚疾患	歯垢の状態 栄養状態 心電図異常	せき柱・胸部・四肢の状態 心電図異常 歯垢の状態 歯肉の状態 眼の疾病・異常 蛋白検出の者	歯列・咬合 耳疾患
	1～2	歯・口腔のその他の疾病・異常 アトピー性皮膚炎 ぜん息	歯肉の状態 せき柱・胸部・四肢の状態 アトピー性皮膚炎 ぜん息	栄養状態 アトピー性皮膚炎 ぜん息	心電図異常 蛋白検出の者 眼の疾病・異常者
0.1～1	0.5～1	心臓の疾病・異常	難聴 口腔咽喉頭疾患・異常 蛋白検出の者	その他の皮膚疾患	顎関節 アトピー性皮膚炎 ぜん息 心臓の疾病・異常
	0.1～0.5	眼の疾病・異常 耳疾患 歯垢の状態 歯肉の状態 せき柱・胸部・四肢の状態 言語障害	顎関節 その他の皮膚疾患 心臓の疾病・異常 尿糖検出の者 腎臓疾患 言語障害	難聴 口腔咽喉頭疾患・異常 顎関節 心臓の疾病・異常 尿糖検出の者 腎臓疾患	難聴 口腔咽喉頭疾患・異常 せき柱・胸部・四肢の状態 その他の皮膚疾患 尿糖検出の者 腎臓疾患
0.1%未満			言語障害	栄養状態 結核 言語障害	

注：1. この表は、健康診断受検者のうち疾病・異常該当者（疾病・異常に該当する旨健康診断票に記載のあった者）の占める割合の推定値を示したものである。

- 「口腔咽喉頭疾患・異常」とは、アデノイド、扁桃肥大、咽喉炎、喉頭炎、扁桃炎、音声言語異常のある者等である。
- 「歯・口腔のその他の疾病・異常」とは、口角炎、口唇炎、口内炎、唇裂、口蓋裂、舌小帯異常、唾石、癒合歯、要注意乳歯等のある者等である。
- 「その他の皮膚疾患」とは、伝染性皮膚疾患、毛髪疾患等、アトピー性皮膚炎以外の皮膚疾患と判定された者である。
- 「心電図異常」とは、心電図検査の結果、異常と判定された者である。
- 「蛋白検出の者」とは、尿検査のうち、蛋白第1次検査の結果、尿中に蛋白が検出（陽性（+以上）又は擬陽性（±）と判定）された者である。
- 「尿糖検出の者」とは、尿検査のうち、糖第1次検査の結果、尿中に糖が検出（陽性（+以上）と判定）された者である。

## (2) 主な疾病・異常等の推移

疾病・異常等の主なものの推移は、表5のとおりとなっている。

- ・裸眼視力1.0未満の者は、幼稚園を除いて、全国平均を上回っている。
- ・むし歯の被患率（治療済みを含む）は、全学校区分で全国平均を上回っている。

表5 主な疾病・異常等の推移

(単位：%)

区 分		未裸 満眼 の視 者力 1.0	耳 疾 患	疾 鼻 ・ 副 鼻 患 腔	疾 口 患 腔 ・ 咽 喉 異 常 頭	(む う し 歯 )	皮 ア ト 膚 ピ ー 炎 性	心 電 図 異 常	の 蛋 白 検 者 出	ぜ ん 息
幼 稚 園	青森県 平成23年度	3.0	0.7	1.6	0.9	55.0	2.5	…	X	0.7
	青森県 平成29年度	X	2.1	1.7	0.7	56.8	1.3	…	1.6	2.0
	青森県 平成30年度	26.5	0.6	2.0	0.8	46.2	2.3	…	0.3	1.5
	青森県 令和元年度	X	5.2	0.5	0.2	41.4	1.9	…	0.9	4.6
	青森県 令和2年度	X	0.5	0.9	-	45.8	6.9	…	-	1.7
	<b>青森県 令和3年度</b>	<b>X</b>	<b>0.2</b>	<b>-</b>	<b>-</b>	<b>34.3</b>	<b>1.2</b>	<b>…</b>	<b>-</b>	<b>1.1</b>
	全 国 令和3年度	24.8	2.0	3.0	0.6	26.5	1.8	…	0.7	1.5
小 学 校	青森県 平成23年度	39.8	5.2	14.3	0.7	69.5	1.8	1.7	0.8	2.6
	青森県 平成29年度	44.2	4.9	16.3	1.0	60.2	1.7	1.3	1.1	2.1
	青森県 平成30年度	46.2	5.6	20.4	1.6	57.5	2.2	1.5	0.6	2.4
	青森県 令和元年度	46.2	5.5	15.5	0.7	54.9	1.4	2.6	0.7	1.8
	青森県 令和2年度	47.1	6.2	17.5	0.8	50.5	1.5	1.3	1.0	1.5
	<b>青森県 令和3年度</b>	<b>49.4</b>	<b>4.6</b>	<b>16.6</b>	<b>0.6</b>	<b>52.1</b>	<b>1.4</b>	<b>2.2</b>	<b>0.8</b>	<b>1.2</b>
	全 国 令和3年度	36.9	6.8	11.9	0.9	39.0	3.2	2.5	0.9	3.3
中 学 校	青森県 平成23年度	62.7	3.3	13.6	0.5	55.2	0.9	2.6	1.8	1.2
	青森県 平成29年度	67.8	4.8	17.8	1.0	49.2	1.2	2.1	2.7	1.4
	青森県 平成30年度	64.4	4.4	17.5	0.4	45.7	1.3	1.9	2.4	1.4
	青森県 令和元年度	66.5	4.4	16.2	0.4	45.7	1.1	2.5	1.6	0.9
	青森県 令和2年度	66.2	4.4	12.7	0.2	39.5	1.1	3.2	3.4	0.9
	<b>青森県 令和3年度</b>	<b>69.7</b>	<b>5.0</b>	<b>22.1</b>	<b>0.1</b>	<b>40.0</b>	<b>1.3</b>	<b>2.2</b>	<b>3.6</b>	<b>1.5</b>
	全 国 令和3年度	60.7	4.9	10.1	0.5	30.4	3.0	3.1	2.8	2.3
高 等 学 校	青森県 平成23年度	X	1.2	13.3	0.6	69.0	0.9	2.1	2.5	0.7
	青森県 平成29年度	69.0	3.9	15.7	0.1	59.9	1.0	2.0	2.9	1.0
	青森県 平成30年度	72.4	2.2	10.8	0.1	57.4	1.3	1.9	3.1	1.0
	青森県 令和元年度	71.5	0.6	5.6	0.0	51.9	1.1	1.8	3.0	1.4
	青森県 令和2年度	71.6	1.7	4.1	0.2	48.8	1.7	1.5	1.8	0.9
	<b>青森県 令和3年度</b>	<b>73.2</b>	<b>3.6</b>	<b>11.2</b>	<b>0.3</b>	<b>52.5</b>	<b>0.8</b>	<b>1.9</b>	<b>1.9</b>	<b>0.7</b>
	全 国 令和3年度	70.8	2.5	8.8	0.2	39.8	2.6	3.2	2.8	1.7

- 注： 1. 小数点以下第2位を四捨五入している。
2. 心電図異常については、6歳、12歳、15歳のみ実施している。
3. 「X」は疾病・異常被患率等の標準誤差が5以上、受検者数が100人（5歳は50人）未満、回答校が1校以下又は疾病・異常被患率が100.0%のため統計数値を公表しない。
4. 令和3年度の数値については、調査時期の影響が含まれるため、令和2年度に引き続き令和元年度までの数値と単純な比較はできない。

ア. 裸眼視力1.0未満の者

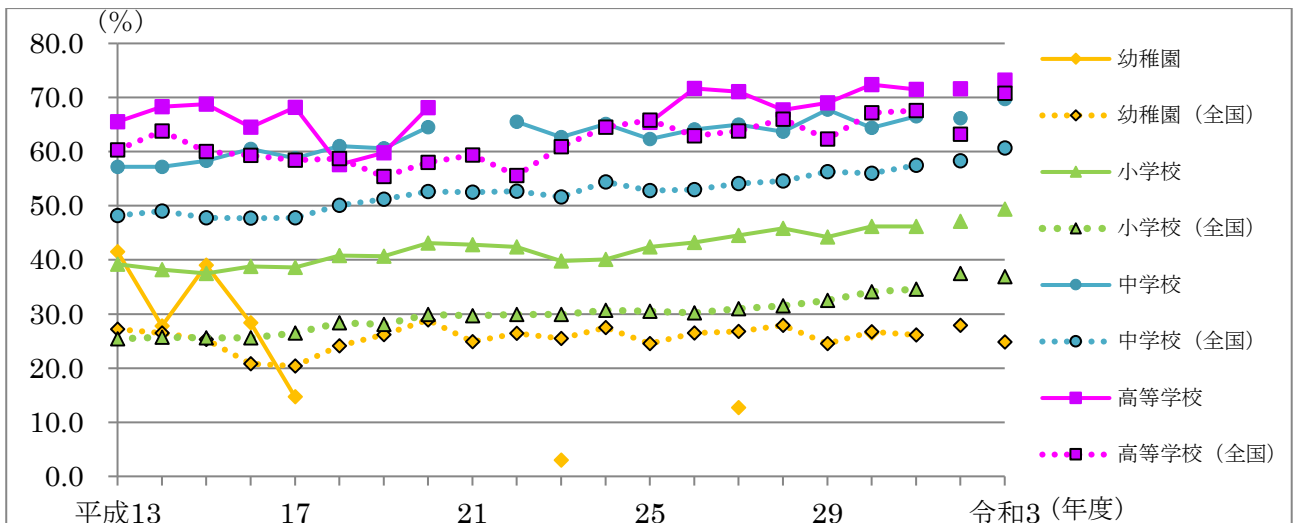
- ・裸眼視力1.0未満の者の割合は、小学校以降、学校区分が上がるにつれて増加している。
- ・高等学校では、裸眼視力0.3未満の者が5割を超えている。

表6 裸眼視力1.0未満の者の推移

単位 (%)

		平成13年	23年	29年	30年	令和元年	2年	3年
幼稚園	計	41.5	3.0	X	26.5	X	X	X
	1.0未満0.7以上	30.5	3.0	X	20.6	X	X	X
	0.7未満0.3以上	10.5	-	X	5.2	X	X	X
	0.3未満	0.5	-	X	0.7	X	X	X
小学校	計	39.2	39.8	44.2	46.2	46.2	47.1	49.4
	1.0未満0.7以上	17.8	15.2	15.8	16.5	16.2	16.4	17.4
	0.7未満0.3以上	13.4	13.6	15.1	16.0	15.9	15.8	17.1
	0.3未満	7.9	10.9	13.3	13.6	14.0	14.8	14.9
中学校	計	57.2	62.7	67.8	64.4	66.5	66.2	69.7
	1.0未満0.7以上	12.6	10.3	10.1	9.1	10.2	13.0	12.0
	0.7未満0.3以上	19.1	15.1	15.9	16.7	17.4	17.7	17.2
	0.3未満	25.6	37.3	41.9	38.6	38.9	35.5	40.6
高等学校	計	65.5	X	69.0	72.4	71.5	71.6	73.2
	1.0未満0.7以上	10.0	X	9.8	8.5	8.3	10.0	8.3
	0.7未満0.3以上	16.4	X	17.0	16.2	13.0	14.6	14.5
	0.3未満	39.0	X	42.2	47.7	50.3	47.1	50.4

グラフ5 裸眼視力1.0未満の者の推移



イ. むし歯（う歯）

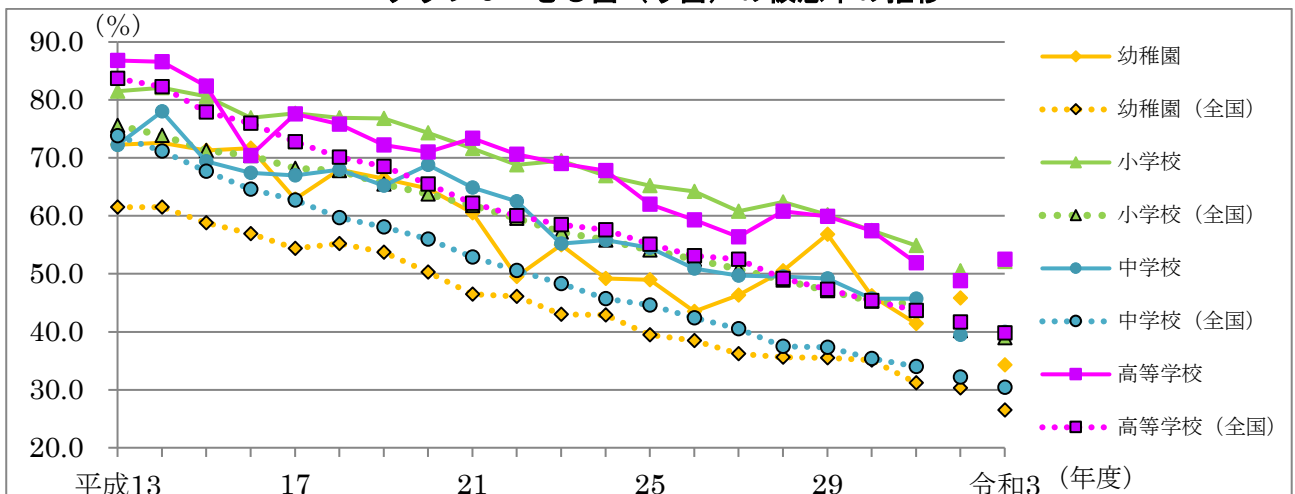
- ・むし歯（う歯）の被患率は、小学校、高等学校で5割を超えている。
- ・学校区分が上がるにつれて、処置完了者の割合が増加している。

表7 むし歯（う歯）の被患率の推移

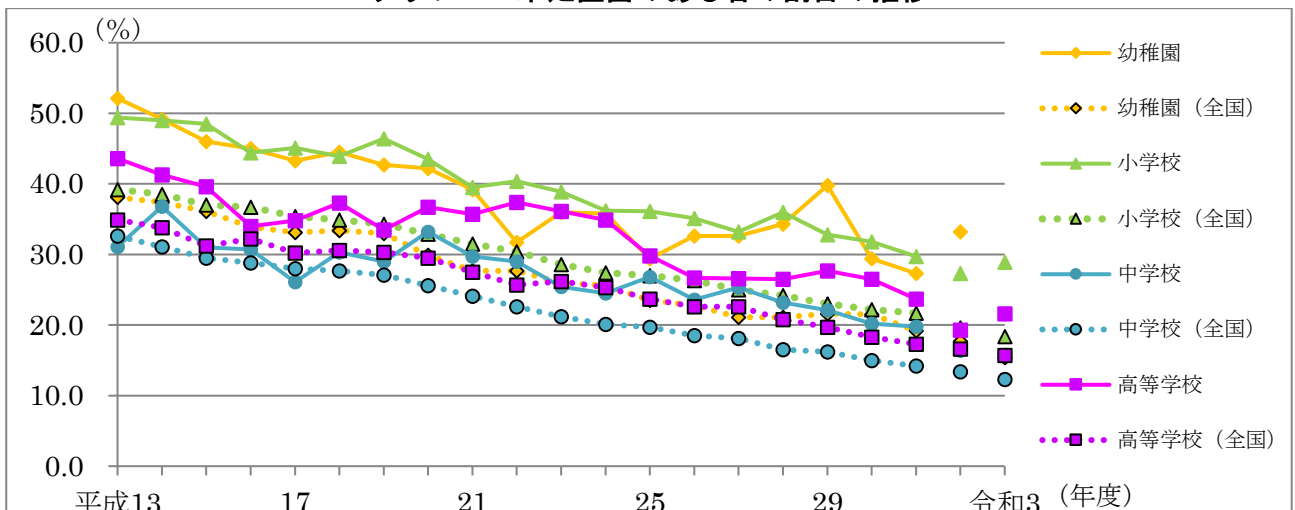
単位（%）

区分		平成13年	23年	29年	30年	令和元年	2年	3年
幼稚園	計	72.3	55.0	56.8	46.2	41.4	45.8	34.3
	処置完了者	20.2	18.9	17.0	16.8	14.0	12.6	12.7
	未処置のある者	52.1	36.0	39.8	29.4	27.3	33.2	21.6
小学校	計	81.5	69.5	60.2	57.5	54.9	50.5	52.1
	処置完了者	32.1	30.6	27.4	25.7	25.2	23.2	23.1
	未処置のある者	49.4	38.9	32.8	31.8	29.7	27.3	28.9
中学校	計	72.2	55.2	49.2	45.7	45.7	39.5	40.0
	処置完了者	41.1	29.8	27.1	25.5	26.0	23.1	24.1
	未処置のある者	31.1	25.4	22.1	20.2	19.8	16.4	15.8
高等学校	計	86.8	69.0	59.9	57.4	51.9	48.8	52.5
	処置完了者	43.2	32.9	32.2	30.9	28.2	29.5	30.8
	未処置のある者	43.6	36.1	27.7	26.5	23.7	19.3	21.6

グラフ6 むし歯（う歯）の被患率の推移

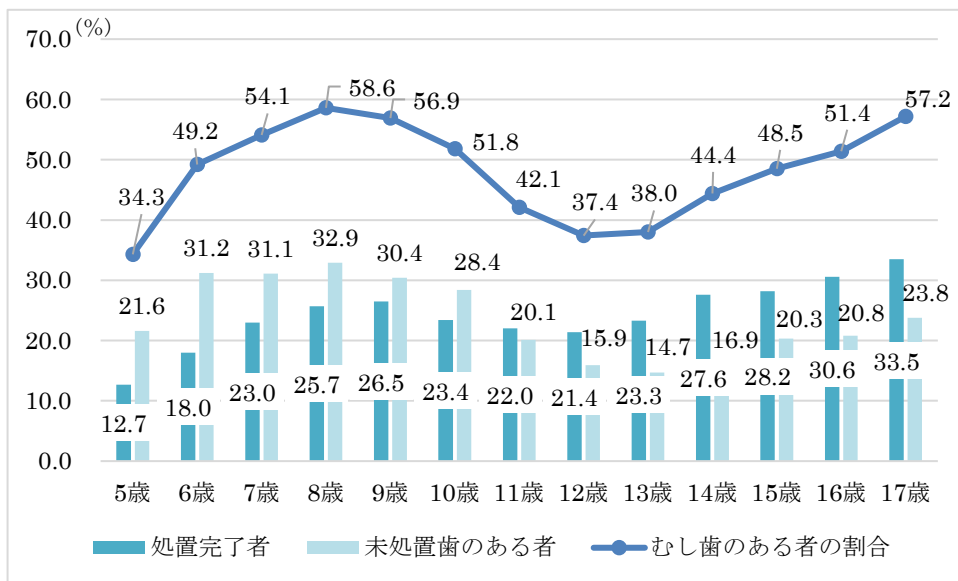


グラフ7 未処置歯のある者の割合の推移



- ・むし歯（う歯）の者の割合を年齢別にみると、8歳が58.6%と最も高くなっている。また、処置完了者の割合は、11歳以降、未処置歯のある者の割合を上回っている。

グラフ8 年齢別 むし歯（う歯）の者の割合等



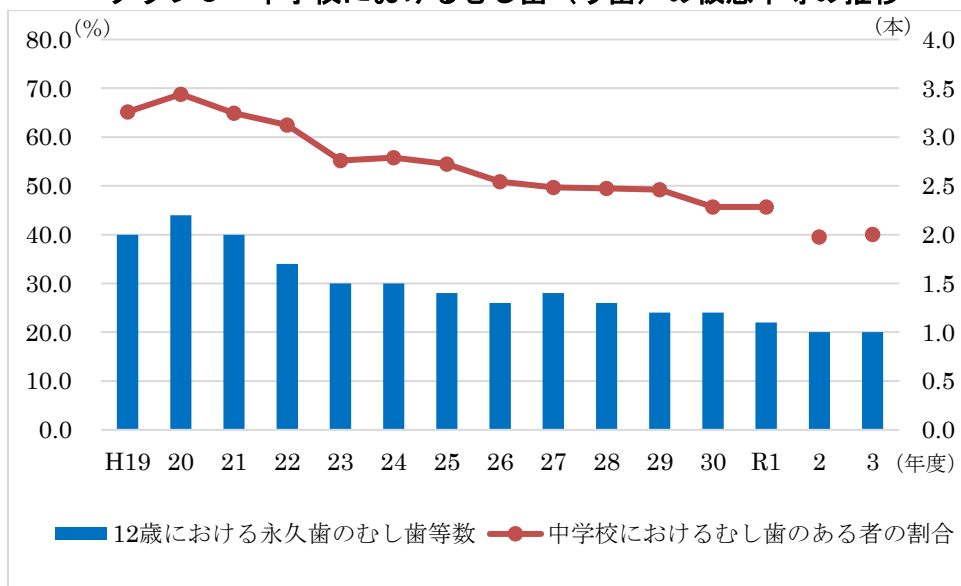
- ・中学1年（12歳）のみを調査対象としている永久歯の1人当たりの平均むし歯数（喪失歯及び処置歯数を含む）は、1.0本となっている。

表8 12歳の永久歯の一人当たり平均むし歯（う歯）等数

(本)

区分	平成13年	23年	29年	30年	令和元年	2年	3年
計	2.4	1.5	1.2	1.2	1.1	1.0	1.0
喪失歯数	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
むし歯 (う歯)	計	2.4	1.5	1.2	1.2	1.1	1.0
	処置歯数	1.6	0.9	0.7	0.7	0.7	0.6
	未処置歯数	0.8	0.6	0.5	0.5	0.4	0.4

グラフ9 中学校におけるむし歯（う歯）の被患率等の推移



ウ. ぜん息

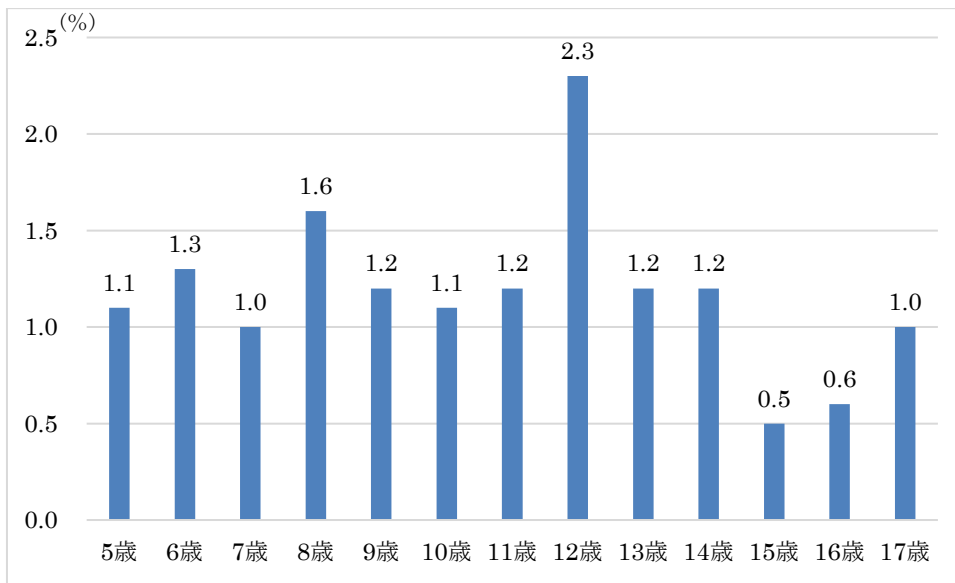
- ・ぜん息の者の割合を年齢別にみると、12歳が2.3%と最も高くなっている。
- ・被患率は、全学校区分で全国平均を下回っている。

表9 ぜん息の被患率の推移

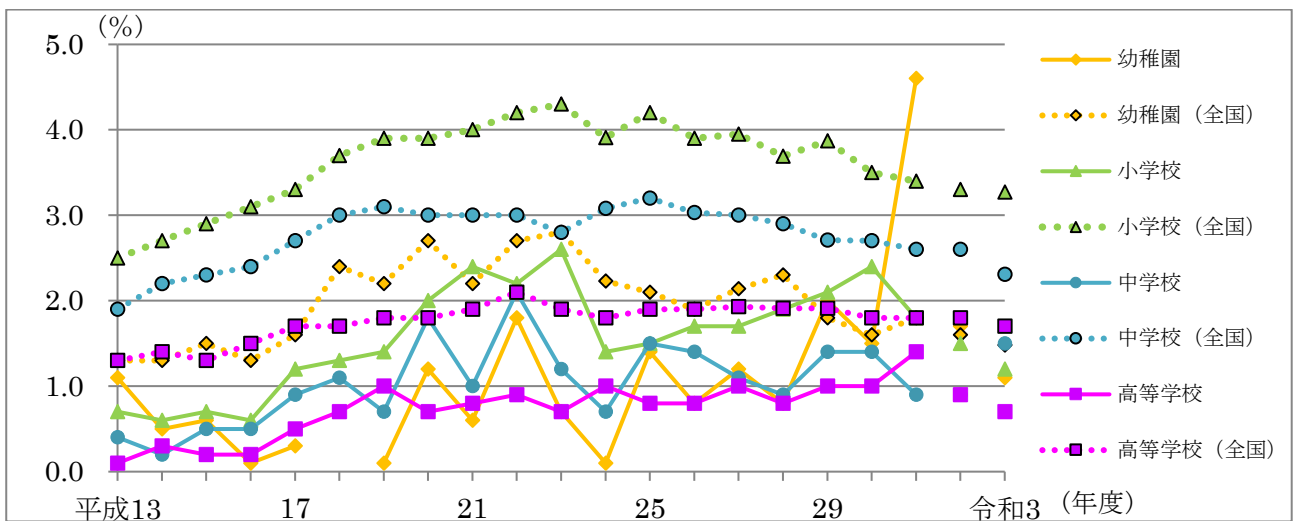
単位 (%)

	平成13年	23年	29年	30年	令和元年	2年	3年
幼稚園	1.1	0.7	2.0	1.5	4.6	1.7	1.1
小学校	0.7	2.6	2.1	2.4	1.8	1.5	1.2
中学校	0.4	1.2	1.4	1.4	0.9	0.9	1.5
高等学校	0.1	0.7	1.0	1.0	1.4	0.9	0.7

グラフ10 年齢別 ぜん息の者の割合



グラフ11 ぜん息の被患率の推移



エ. アトピー性皮膚炎

・アトピー性皮膚炎の被患率は、全学校区分で全国平均を下回っている。

表 10 アトピー性皮膚炎の被患率の推移

単位 (%)

	平成23年	29年	30年	令和元年	2年	3年
幼稚園	2.5	1.3	2.3	1.9	6.9	1.2
小学校	1.8	1.7	2.2	1.4	1.5	1.4
中学校	0.9	1.2	1.3	1.1	1.1	1.3
高等学校	0.9	1.0	1.3	1.1	1.7	0.8

グラフ 12 アトピー性皮膚炎の被患率の推移

